主題単元学習を通して

① どんな授業をしたいのか

「やれやれ終わった-」

「落ちこませては気の毒だ」などと生徒は気を使ってはくれない。こんな感じで背伸びをされるとがっかりする。

逆に、

こんな反応はうれしい。「え?」もう終わり?」

生が来てしまうこともある。ないのは悲しいが、授業の終わりでならうれしい。次の時間の先投業の始まりに「チャイムが鳴ったぞ。」と言わなければなら

時計とにらめっこしなくてもすむような授業がしたい。てほしいのだが、そこまでの道はまだかなり遠い。とりあえず、できれば、「もう終わり?」に加えて「力がついたなあ」と思っ

自分が生徒になって、その教室で授業を受けてみたいか。

島 津 貴 宏

てみたい」と思えるような授業は少ない。るとなんとなくいい授業に見える。が、「自分もその教室で勉強し自分の授業をこういう目で見ている。文章にしてまとめたりす

なくてすむ授業をしたい。「もうすぐチャイム。十、九、八、七、六、五……」と秒読みし

② 主題単元でやってみようと思ったわけ

・教科書の教材の並べ方に魅力を感じなかった。

いいかげんな選び方をしていた。・計画を立てる時、教科書のこれは読んで、これは飛ばしてと

・「全然おもしろくない文章だ」と思いながら投業することが・教材選択の視点が定まっていなかった。

・計画が紙の上だけのプランで、実際には「行った所まで」とあった。

いう感じだった。

– 25 –

- ・授業の工夫がその場しのぎのものに終わっていた。 定期考査に向けて教材を消化していくような感じだった。
- ・発問→解答(回答)の授業に行きづまっていた。
- ・書く機会を増やしたいと思った。
- ・書くことの苦手な生徒が多かった。
- 「作文」という言葉に抵抗を感じる者が多かった。
- ・一つの教材で考えていたことを教材を組み合わせることで深 書き出す意欲を持ってほしかった。
- 単元を積み重ねていくことで学習が効果的に行えると思った。 められると思った。
- ・自分自身の研究の柱を持ちたかった。

主題を設定することで問題意識を育てられると思った。

こんなことから主題単元の授業を始めた。

が、実際にやってみると反省点がすぐに出てきた。

- 教材の蓄積がない。
- 主題を決めるのに時間がかかる。
- 教材選びに時間を取られる。
- 選んだ教材に自己満足していた。
- ・主題に対する思い入れが強すぎた。
- ・主題追求に傾きすぎて、一つ一つへの言葉へのこだわりが薄 ・教師の一人よがりになった。

3 主題単元「慟哭」のきっかけ

自身に新鮮な興味が必要だった。 があればと思った。が、もう一度教室で読むには指導者である私 四年前『山月記』を教室で読んだ。欲求不満が残り、チャンス

みたいと思った。 語教育」(一九八五・十一月号)にも載っていた。「脚本」でやって 『高校戯曲選19』(晩成書房)に「山月記異聞」があり、「月刊国

二年生三学期の一番最後に置くことだけを決めた。 「言い終わって叢中から慟哭の声が聞こえた。」

孔子はなお慟することをやめなかったという。 淵の死を弔って、思わず慟したので、従から「子、慟せり」と た。「夫の人のために働するに非ずして、誰がために慟せん」と 孔子にとっては、「天、予を喪ぼす」というほどの哀しみであっ 注意されている。近親のものだけが、慟をする定めであった。 なる。[論語、先進]「子、これを哭して慟す」とあり、孔子が顔 **弔問のとき働と哭とあり、死者との関係によってその礼が異**

単元の主題「慟哭」はここから決めた。

『字統』より

いっしょに勉強できない。 二年間、担任としてもつきあってきた学年。来年度はたぶん

持ちがこめられている。 この主題と副主題の「愛するものとの別れの心情」には私の気

「何だろう。どうなるんだろう。」と興味をわかせて、眠気 をとっぱらいたい。

「国語の先生、どんな意味か説明を見ずに考えて。」 ある日、数学の先生が新聞の切り抜きを私に差し出す。

これやこの一期のいのち炎立ちせよと迫りし吾妹よ吾妹 『折々の歌』の吉野秀雄の短歌だった。

どうもよくわからない。 「国語の」をつけられると緊張する。眉をよせて考える。が、

「せよと迫りし?」 「炎立ち?」

「吾妹?」

大岡信の言葉を読んで、声が出るほど驚いた。

十三時間の予定で次の三つの教材を選んだ。

宮沢賢治の詩「永訣の朝」

吉野秀雄の短歌

- 中島敦の小説「山月記」
- (1)は妻との別れに「慟哭」する秀雄

②は妹との別れに「慟哭」する賢治

(3)は人間でなくなることに「慟哭」する李徴

三学期は教室が暗くなりがち。テーマも暗い。 「ことば遊び」などの「遊び」の要素にもこだわってみたい。

・教材をストレートに持ちこまない工夫をしたい。

[5] 授業に入る

(1) 吉野秀雄の短歌の授業(三時間)

次のことを班ごとにOHP シートにまとめなさい。 語意 解釈 情景 作者の心情

歌を板書にして、この指示をしたところで授業での教師の出は

終わったようなもの。あとは生徒から出てくるものにまかせて授

・さかんに私にさぐりを入れてくる班。 ・放課後遅くまで残って「カンペキダー」と満足げに提出して いく女子。

りの意味を書いている班はない。 どうにか七クラスの五十九班が OHP シートの提出完了。ずば ・「絵がかけんけェ許してください」と頼みこむ男子。

夫が病気、妻が看病

しい。情景は三種類に分かれた。(資料1参照)

ユニークな絵に大笑いしたり、感心したりの生徒の表情がうれ

妻が病気、夫が看病 病気とは関係ない

違いをまとめる。意見を書いたものを材料にして歌の情景を

いっしょに考えていく。 最終説明をする。

それがどういうことなのかわからない者

騒然となる女子クラス。終わりのチャイムも耳に入らず、十 分以上わめき続け興奮冷めやらず。

・男子の多いクラスは冷静。「じゃあ、夫の立場ならどうする

*準備したもの か」と尋ねると照れたような顔をしてごまかす。

・OHP 機器、OHP シート各班一枚、マジック

・各自で書いた情景、心情で書いたものを対立点に明確にしてグルーピ ングしたプリント

・吉野秀雄の四首を載せたプリント

・国語辞典、古語辞典(忘れた班用)※ほとんど忘れていた

これやこの一期のいのち炎立ちせよと迫りし吾妹よ吾妹

亡妻追慕の歌がひしめき並ぶ。昭和期挽歌集の随一である。死を目 児を残して四十二歳で病没した。右歌集には死の時に始まる悲痛な おいて孤高の峰をなす歌人。昭和十九年晩夏、最初の妻はつ子が四 『寒蟬集』(昭二二)所収。師と仰いだ会津八一と共に、昭和短歌に

『第三折々の歌』より

前にして、これを限りの命を燃えたたせ、男女の営みを夫に迫る妻。

一切空の大千世界に、慟哭する炎となって立つ二つの命の火柱。

(2)宮沢賢治「永訣の朝」の授業(三時間)

ゲーム「二十の扉」を利用して作品の内容を想像する。

朗読テープを聴写する。

※ 二十の扉 妹トシと賢治の心情をまとめる。

回答者を選び、例えば名詞なら名詞を考えてもらう。残りの者

が質問を順にしていく。「それは生き物ですか」「店で売ってます

るかどうか、どういう質問をするとより早く回答に近づけるか。 小学生から大人まで楽しめる。 てはいけない。二十の質問内で回答者の考えた言葉を当てられ か」というぐあいに。回答者はハイかイイエ意外の言葉で答え

物語か(イイエ)

詩か(ハイ) 長いか (イイエ)

有名か(イイエ) おもしろいか(イイエ)

授業で習ったか(イイエ) 短いか(イイエ)

誰にでも内容がわかるか(イイエ)

作者は女の人か(イイエ) 自分たちに関係があるか(ハイ)(イイエ)

内容は暗いか(ハイ)

最近書かれたものか(?)

28 **–**

悲しい詩か(ハイ) 作者は生きているか(?)

死ぬ詩か(ハイ)

季節に関係のある言葉があるか(ハイ) 戦争の詩か(イイエ)

病気で死ぬのか(ハイ)

冬か (ハイ)

人が二人以上出るか(ハイ)

家の中で死ぬか(イイエ) 子供が死ぬか(ハイ)

兄弟か(ハイ)

女の子か(ハイ)

妹か(ハイ)

病気で死ぬか(ハイ) お兄さんが妹のことを書いたものか(ハイ)

少し時代が前の内容か(ハイ)

白血病か(?) 病気ははやったものか(イイエ)

広島か (?)

妹が死んだあとの詩か(イイエ) 寒い地方か(ハイ)

死にぎわか(ハイ)

妹は遺言を残したか(ハイ) 雪が降っているか(ハイ)

> 質問に答えさせた。質問されるたび回答者が教卓のかげでひそひ 回答者は二~三人で交代した。「永訣の朝」のプリントを持って

そと相談したり、意見が分かれて言い合いになったり。その光景

がなんともおかしい。

「おもしろいかって……?」

「おもしろいかいねー」

「おもしろーないいねー」

「うん」

「イイエ」

間かかった。 テープの聴写では「あめゆじゅとてちてけんじゃ」でどのクラ ゲームのウォーミングアップなどを含めてこれだけでまる一時

うな顔をする。 スも決まって大騒ぎになる。「いまのなんなん~?」実にうれしそ

トシと賢治の心情は説明中心。

*準備したもの

・「永訣の朝」本文だけのコピープリント ・朗読テープ・テープレコーダー

中島敦「山月記」の授業(九時間)

・妹の言葉について意見を書いたものグルーピングしたプリント

(3)

変身遊びできっかけを作る。

読み聞かせて感想を書いてもらう。

虎の絵をかいて遊ぶ。

29

・環境・人物・あらすじ・文体・主題などを一通りまとめる。

・場面を分けてシナリオを作っていく。

・班ごとに読み合わせ練習をし、リハーサルする。

・シナリオを手直しする。

シナリオのできあがり。

「舞台」で読む。

変身遊び

Ж なになにが、だれだれが(一枚目の紙)

なになにに変わった (三枚目) どこどこで (三枚目)

『ことば遊び、五十の授業』より

ねこが屋根の上でぼうしに変わった

おやじがおふろで象に変わった

おばあさんが学校の職員室で悪魔に変わった 毛のないネコが教室でスリッパに変わった

先生がかんづめの中で野ザルに変わった さるが学校でたこ焼きに変わった

宮内先生が教室で目玉おやじに変わった 幼い子供がリフトの下で大きなあめ玉に変わった 島津先生がトイレでブッシュマンに変わった

アイドル歌手が道路でおじいさんに変わった 小さなバッタが暗い公園で美人に変わった

サルが公園でスケベに変わった

人間が学校で手袋に変わった

山月記の教師の読み聞かせ ゴルバチョフ書記長が電話ボックスでカバに変わった

約二十五分

*

* 虎の絵

両用紙に顔や体をリレーで順番に書く

変身遊び。 「ある男が中国で虎に変わった」というのをなにげなく言いた

いための遊び。

「書き出し文」にして小説を書いて楽しんだ。 このまま捨ててしまうのは惜しいから「国語表現」の投業で

読み聞かせる。

ないか!」と大声を出したり「何かわけのわからぬことを叫びつ 教師の気持ちとは裏腹に男子が寝る。「その声は我が友李徴子では 情がよくわかってくるからおもしろい。何か発見がある。そんな つ」で本当にわけのわからない叫び声を出したりして驚かす。 前回と今回で都合十回以上読み聞かせた。読むたびに李徴の心

「もう、変なことばっかりさせる。」 遊び。言葉の学習ではない。

のも見せろとうるさい。 べてまで笑う者もいる。できあがって品評会。よそのクラスのも んだ線をかいては大笑い。オスかメスにこだわる男子。涙を浮か

これも捨てるのは惜しい。虎の顔の部分だけ切り抜いて「わっ

と文句を言う。そのくせ大はしゃぎ。目をかいては大笑い、ゆが

ことにする。 か」をつけ、シナリオ上演の時、李徴役の生徒にかぶってもらう

- ・シナリオとはどういうものか
- どういうふうに書けばいいのか
- ・すぐれたシナリオの紹介
- 生徒が書いたシナリオの紹介(あるいは合評会)

からないままにムードに乗せられてやっている。まる二年間つき こうしたことがほとんどできなかった。生徒もなんだかよくわ

あってきた強みである。

間ずつ増やす。空き時間がなくなった。 他教科の先生から授業のあまりをもらい歩いて七クラスを二時

ヘシナリオ場面割

6 8 |5|(虎へのステップ三)絶望の日々 4 (虎へのステップ二)詩人への夢ー希望の背後に忍び寄る影 3 (虎へのステップ一)順調な人生 2 (プロローグ二) 袁傪、妻子に語る - 真実は伝えられるのか -(プロローグ一)人食い虎旅人を襲う - 袁傪の回想 |(悔恨と絶望の日々一) (李徴の告白②)詩への執着と虎になった理由 (悔恨と絶望の日々二) (李徴の告白①)虎への変身 袁傪と人食い虎との出会い グ)涙の別れ 過去への悔いと現在の苦しみと未来への絶望 -李徴の行く末-**沿の心で振り返る残虐な行い-**一挫折、屈辱そして発狂ー -光り輝く日々 -

*準備したもの

- **画用紙、マジック**
- ・シナリオ原稿を班の人数分コピーしたもの

・完成したシナリオ印刷

- ・舞台設営(暗幕・照明・ダンボール製の月とくさむら・竹・ついたて ・机・椅子など)
- ワーナーブラザーズの映画からとったライオンの鳴き声・進士の合格発 もちゃ・鉄砲・水筒・李徴の家庭の湯飲み・茶碗・花瓶・ラジカセ・ ・小道具(虎の面・李徴の妻用のかつら・エプロン・李徴の子供用のお
- ・観客席、ビデオ

表掲示用大判用紙・ついたて)

〈シナリオにしてみてわかったこと〉

李徴は公用で旅に出て、汝水のほとりに宿り、ついに発狂した。

だった。 発狂前と発狂後に分けると、四年前の授業では発狂後が中心 「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」……李徴の語りを読み解いて

わかった。第一段では言葉の解説に気を取られていた。 発狂前の第一段の扱いが軽かったのだ、とシナリオにしてみて

- ・第一段をどう読み理解するかで、第二段以降の読みが決まる
- ・第一段に長い年月が凝縮されている
- ・凝縮されているものを、解きほぐし、ふくらませる必要があ

説明ではおさまりきれないものがある

「隴西の李徴は博学才頴……」書き出しの一文にあるドラマ。

「人と交わりを絶って」 「いくばくもなく官を退いた」

「貧窮に堪えず」

ナリオが教えてくれた。 こうしたわずかの文節にこめられたドラマ。そうしたことをシ

「妻子の衣食のためについに節を屈して」東方へ向かっていく

李徴の一家。(いつごろ結婚したのだろうか?) 「かつての同雅」の命令にずたずたになっていく李徴のプライ

降がつけたしのような気分にさえなってくるほどなのである。 第一段のドラマを浮かび上がらせることができれば、第二段以

<もし、もう一度読むとしたら>

朗読とラジオドラマ(放送劇)にする。

・第一段(袁傪が登場する前の段)を複数のグループでラジオ

ドラマにする

度、イントネーション、声量。読めば読むほど新しい発見があっ た自分の体験をもとにして。 第二段以降は朗読を中心にして何度も音読させたい。間、 得

(二年間の主題単元学習を通じて)

「作文」ではこんなところにこだわった

6

(1)「要約することはおもしろくない」 ふくらませてみるとおもしろい

ある先生の言葉 「たとえば大意とか主題は、エピソードのようなおもしろい部

分、いわば余分なものを削り取っていく作業。だからどうやって

もおもしろくないですよ。」 約とは反対の「ふくらませる」方向に動いていた時が多い。 生徒のいい表情が印象に残っている場面を思い浮かべると、要

・三つの単語からふくらませて文章を書いた

・続きを書いてふくらませた

物語の先のストーリーを予想する 新聞の見出しをふくらませて愛の定義をこじつけた

・シナリオを書いた

授業には要約、つまり「しぼませる」方向に向かう場面が多い。

・作品の内容を読み取っていく

・それをまとめていく場面

あらすじをまとめる

「ふくらませる」方向を授業の中にうまく組み合わせると生徒 主題をまとめる

の表情が生き生きとしてくることに気づく できるだけ種類の違う文章を書いてみたい。

• 投書 新聞投書への意見を書いた。 毎日新聞に投書したら四つも載った

· 物語

三つの単語をつないで文章を書いた

『民話』と『高瀬舟』の続きを書いた

·手紙文 三年後の自分にあてて手紙を書いた

聞き書き 身近な人の青春体験を聞き書きした

·生活文 ・レジメ 恋体験をつづった

小論文 りを調べた 犀星、朔太郎、啄木、山頭火とふるさとのかかわ

象的な題で書いた(ムズカシイ)

「生きるということ」「愛するということ」など抽

ブックリポート

『セメント樽の中の手紙』を紹介する文章を書い

· 描写文 ・シナリオ 『山月記』をシナリオにした 絵や写真を見て描写して書いた

・読書カード読み聞かせた時に書くことが多い

休み中の課題にもした

うなった。つい感想文や体験中心の作文が多くなってしまわない 二年間、二単位の授業。いろんな文種にふれてもらいたくてこ

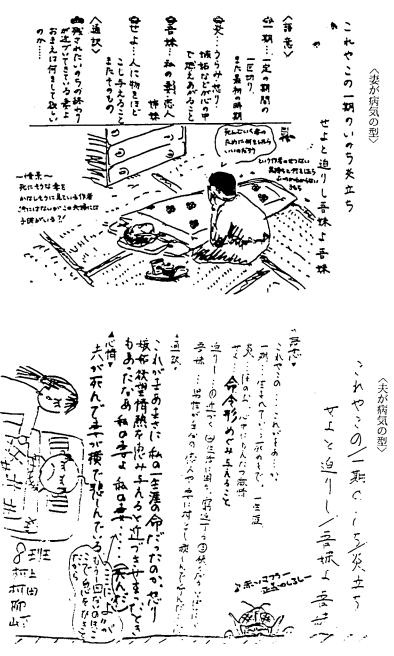
感想はメモのような形で小さめの紙に書いてもらうことが多

かった。

ように気を使った。

(山口県立田布施農業高等学校教諭)

-33 -





(家温)

君のその話し方、どうにかならないか。あくまでも私は君の上司なんだからね。」

のか。そうとう俗語な事らしぶりだったんだろうな。それと、さっきから気になっていたんだが、健後一まったくまずいお茶だ。吾は、官吏をやめて詩葉にはげんでいた間に、お茶も入れられなくなった李肇一(ひどく)どうぞ一

(李徴、しぶしぶ入れ換える。)

く入れ換える。」

健後「そんなものは知らん。第一ここは日本なんかじゃないだろ。いつから看は日本人になったんだ。早こづく)」

李攽「茶柱だよ。ほら、立ってるじゃないか。日本では、韓起がいいものの一つなんだ。(ひじで健後を健後ではんだこれは?・茶かすが入ってるじゃないか。」

(学徴はしぶしぶ茶を入れる。)

健後「何か言ったか?」気に入らないなう、今すぐやめきせることぐらい間単なんだぞ。一うらんれる。」

李強一(小声で)なんで確がこんなやつのためにも柔なんか入れてやらないといけないんだ。自分で柔くおいてくれないか。おう、その前にも柔をたのむよ。」

因るチー。今は君の上司なんだからね。……あっ君、今ヒマそうだな。この奉頼の壁理でもして健後一あ1吾か。確かに昔は世話になったこともあったかもしれないが、今は昔みたいに気安くされても本金「僕後?」もしかしなくても健後だろ。この鼻といい口といい、相変わらずアホ面だなる。」(名所の単)

ナ 「李徹は地方官吏になった。そこで、かっての同盟、韓後に再会した。」

くない。(以下李敬が行方不明になるまでの教科書的五行分)下命を拝さればならぬことが、往年の俊才李敬の自尊心をいかに傷つけたかは、想像に難ての同堂は既にはるか高位に進み、彼が昔、純初として歯子にも掛けなかったその連中の東の魔を奉ずることになった。一方、これは、己の持葉に半は絶望したためでもある。かっ数年の後、資料に堵えず、素子の衣食のためについに筋を屈して、再び買へ赴き、一地方官教育作の抵出遺跡

第五場 [(虎へのステップ三)絶望の日々「挫折、屈辱そして発圧」」より

道具、パックミュージックを準備した斑が少数。当日の様子はビデオに収録。シナリオ上演:家庭経営室を借りて実施。豊の間を舞台とと、座席、殿明、幕、野景、大道具、小道具を準備。小シリオ上演:家庭経営屋を借りて実施。豊の間を舞台とし、座席、殿明、幕、野景、大道具、小道具を準備。小

シナリキを動へ

二年 三学期 単元 | 樹実-要するものとの別れの心臓-| より

しかったけどよかったです。ホントにありかとうごないました。生自分の考えってものをその度見るの直すことができたのでいるまったもったったいまいでもことが多めった(国表でもじ)でかると けっこうおもしろいぐまいでもってしまう。このが多かったできんがのおんのこっなくこれってたりするんだけど、実際杉てくあんな考えがうかんでくるのかわかんない。でもはいめは「えした生の授業にはホントいつも軽高かごれてしまいます。どれかれがいしまます。

二年間 ありがとうごかいました。三年生になってもようしくな異常や理想を書いてくれたらよ~~ちうれしい。

○二年間看達と時間と場を共有できたことを感謝しています。最後にまたいろんな

ٽ اھ

くなきたらなありと思いました。他のろうスのも、望、な見たが、たかあもしらかった。 はこ男子の班。もって練習する時間があってうまな、もうつうは山月記の扇。初の班は入くなだったけど、他の班のがくりしたし、うれしかったです。

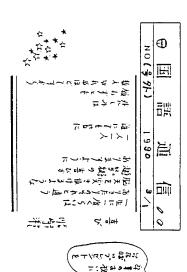
からどんなに変ならか…。て思ったけどけっこうだむするのかのくてこっています。内なくないいかりとって、その中からえらんで定義するのや新聞の切りれまと使って「愛とは「しある」とも、たのか印象にの

と)を二つぐらい挙げて必想などを書いてください。

◎この一年間を扱り返って、印象に残っている技薬、教材(現代国籍に関係したこ

(複書き、なぐり確めなんでも0と)

二年 三祖氏名 长門首子



去来中一個個個個個

を起こして、 らです。Wy Revolution が終了したのです。それとともに、 なぜなら、 同事も中途半端な私が、 自分が満足するだけでなく、他の人から要されるような人になっ 一つのことをやりとげることができたか [1987\6]|26||0||4651990\3]|1||0||\circ|| O. O Revolution

はすごいことです。 あなたは、今日の自分がはたして好きですか。嫌いだったら自分の意志の弱さを再確認して、努力してください。また、好きになっているとしたら、これ あり、心化しているだろうと思います。

からです。もうすぐ社会へ川て行かなくてはならないので、自分自身不安でも 私は今、自分の欠点の多いことに気がつき、自分のことが嫌いです。何事に 対しても中途半端で、次達は何も言わないけれど、自己中心的なところがある。 今日卒業式ですね。三年間という年月は、あなたにとってどうでし

高校受験という難関を突破し、学校生活にも慣れてきたこの頃です。しかし、

€5 EN

H

三年後の私への手紙

たか。

あなたは、

配達しおえた今日、私の役目が終わりました。

三月一日の投取人が不在です。 手紙が箱のすみに残っているはずです。 にしてきた手紙です。配り終えたら、 ていてほしかった。なのに、届けることをず 本棚の上でダンボール箱に入っていました。

がいるかもしれません。 自分がいるかもしれないし、変わってしまった自分 まるで成長していない そこには、 ほんの少しも思いを寄せ 「幸福」には、 「ものな」か「かり つかしまを盛じるだけで、

:064 暮いていないと思うなら、 ただもう自分を嫌いにな ててもらってもかまいません。くだらないことしか 手紙を読んで笑ってください。恥ずかしければ捨

P.

Į.

B

إه

Ŷ,

و

*

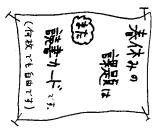
Ø

んな人たちを随目で見ながら弱っているわけです。最初は、それでもいいと思ていました。クラブ、クラブの毎日なんで中学校のときだけでたくさんだし、 もっと自由にやろうなどと考えていたのです。しかし、最近、ほんとうにこれ てみたいのです。このままで高校生活を終わらせたくないなと思うのです。 のような気がします。 でいいのかな一と思うようになりました。このままの私は、すごく空しい人間 整命やっている人を見るとすごいなーって思います。とてもえらい政資にも耐えて、自分のやりたいことを一心にやっているのだな。一と思うわけです。そ きるときがいい。 ほんとはそんなことではいけないのかもしれないけど・・・・・・ 友達と話しているときです。それと自習のときかな。とにかく自由に何かがで ります。友達と、そう言って話してます。学校に来ていて一番楽しいときは、 て帰る。そんな毎日です。学校に来ていると早く家に帰りたいと思うことがあ 今は熱中することが何もありません。そんな私だから、放衆後クラブを一生 この高校生活の中で、一度は何か、やりたいことを見つけて、それに熱中し 今の高校生活はとっても平凡です。例、登校して六時間投業を受けて、そし

温暖浴室沙层外外型 清水美都子

【1987年6月25日の基本ら1990年3月1日の基へ】

(こみマンちゃ (成子に計り)



(點略 掛子 1-11)

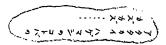
を公川真まさんがよむらた)(21kの大路の上島(21kの大路の五路の1点を1上台でした。ふうな人 館のどん どん 読みでいきたい てずっ

いるははなるへついるまするとと

(ニー五 山本住)の

自に何とも畜えないものがあった。をするとなの人のできなりなるの人でなれたとうもうりと考る人と生がとても好てた。よってイアシーに投表の問いならっていなりしいことを言

しろかった。(二-三 申 6名 体也)これは春年気はのギッシュリナ信以上おも生まの下ネタをきてのが催の妻しみだった。これととれててくれてカリットも送わせてくれてありがとう。 富幸



(11-1 # E B (K) +15)

さして住きて下さい。らないジョーダンを言って、3m鳴きシラけらがんばいってきたと思う。これからもつま場をしらけさやおけど、それにものまませんっまらないジョーのきよく言って

かどう。(二・六)金子典生)を言っては楽しませてくれた。どうもあり島津先生はみんなも姓わてなたのにずっか

忘れてください。

Z

4

94

9

#

B

いにはを書って、時々不関連な顔をしていた男のことなどとだけを味々思いだしてください。スケベで、うけもしなうそによいかと考えてきました。だから、どうかそのこいつもそうあってほしいと祈っていました。そのためにどき選が死んだのです。若退がほんだのです。若退がほんだのです。若退がほんだのです。若退がほんだのです。おおがなってはしいとずっと思っていました。よれない、そうしてもらえるこれなど、私の劇や喜素や表情はどうかきれいさっぱり忘ん。

えたら、それは私にとってもうれしいことに違いありませうスにいた太道の書い出してらってら格です。同じ字平、同じってるてください。教室は思い出してもらってかまいませんと、夢中になったこと。そうしたことだけも軒っ思い出し書いたこと。考えたこと、話し合ったこと、我に合ったこれで、もしよかったら…… 岩道が飲んだこと、でし、もしよかったら…… 岩道が飲んだこと、

です。覚えておいてほしくありません。存在など配債の中から消し去ってください。どうかお願い忘れてください。とうかお願い忘れてください。私のことを忘れてください。私という

思い出してほしいこと

(二-三 简本 美佐)

さになりました。(ニーエー谷のもまさみ)った陽の子にを強くだおおげで、小説を譲むのが大好った

(二-一)就男主美定)

この本説人でみたいなと思ったので不思議でついたり、読書なんもほとんどしない知でも、みんなの話人だ本も印刷したプリントもみみ

たら、れきま、もけに本と構むようにな、美したら、れきま、もけに本を構むようになる、ました。この小説ははとても縁みもすった。春休みに反谷僅次時の「大陽の子」を読み

(ニー こ 字代存な子)

を強くて読みたくな。た本もありました。人族もようになりました。またみんなの組命誘すっしたりました。またみんなの組命誘すり「ドを書くことによって本をたくさ

回 如如安宁 经收益公司

